

【第4分科会】学校支援 B

(報告者：七尾中学校 PTA 輪瀬 薫)



●日時：10月18日（金）13:30～16:00

●場所：三重県総合文化会館 中ホール

●研究主題

○東湊っ子の安全を守り、思いやりの心を育てよう

～保護者・学校・地域と子どもをつなぐPTA活動～ 『石川県七尾市立東湊小学校 PTA』

○“つながる・支え合う・まなび合う” PTCA をめざして

～学校は家庭と地域をつなぐステーション～ 『三重県津市立南郊中学校 PTA』

●助言者：中川 克己（三重県小中学校長会 副会長）

●コーディネーター：川原田 元（津市教育委員会 教育研究支援課長）

●パネリスト：川本 牧子（三重県立白山高校教諭 野球部部長）

宮 民生（東湊小学校 PTA 会長） 長谷部 学（東湊小学校 校長）

湯浅 大輔（南郊中学校 PTA 会長） 青木 利斉（南郊中学校 校長）

石川県七尾市立東湊小学校 PTA は、平成 27 年と 30 年度に二段階で二校と統合した児童数 204 名の学校である。PTA 組織として、役員執行部を中心に 4 つの委員会にて構成されている。子どもたちにつけたい力を学校・家庭・地域が共有し、特に『安全・安心』をキーワードに、危険回避能力アップに繋げるような活動が印象深かった。

三重県津市立南郊中学校 PTA は児童数 359 名の中規模の学校である。役員執行部を中心に、6 つの委員会・各学年委員会にて構成されている。中でも一番印象に残った内容は『自尊感情』の低い子どもへの対応を大きな課題とし、『南校ナイトスクール』を計画・実施された点である。子どもたちに勉強する場所・環境を提供し、地域で学習面から達成感・自己肯定感を経験・体験させて学力向上につなげている。それによって自己肯定感を高める事ができ、子どもたちの学力向上の一助となっている活動内容であった。

二校の発表を聞き、子どもたちには役割を与え、自分が必要とされていると思えるような『自尊感情』を醸成させるためには、学校と地域を繋げる関わり方が必要であると感じた。子どもを支えるのは大人であり、学校と地域を繋げる事が必要である。また、学校づくりと地域づくりは両輪であるとも感じた。当事者意識を持ち、子どもたちを育てていくべきであり、学校が地域を生かした学校づくりが必要となっていく時代であると感じた。